

## 地域包括ケアネットワーク No.83

### 北児島ケアネット内に「互助ネット」を設置しました

北児島医師会地域包括ケア担当理事 宮森 政志  
前理事 西崎 進

北児島医師会の地域包括ケア活動は「北児島ケアネット」という名称で、平成27年12月3日正式に発足しました。内容は、年4回の運営委員会と年3回のシンポジウムを基本活動として、各回テーマを設定し、この地区の特性、資源、医療・介護・福祉サービスについての共通認識を深めていっており、令和元年末までに運営委員会計17回、シンポジウム計12回行いました。

シンポジウムに関しましては、毎回70～120名参加の盛況であり、医療・介護・福祉関係の方々に加え、町内会の役員さんも加わり、活発な議論が交わされる様になり、とくに災害時においては公的援助が立ち上がるまでに、援助をさしのべる互助組織を北児島ケアネット内に新設してはどうかという貴重な意見が出されました。

令和元年12月の拡大運営委員会におきましては、令和2年3月、6月、9月にシンポジウム、12月に拡大運営委員会を行うことに決め、とくに6月のテーマは「地域防災マップの見方」とし、同時に北児島ケアネット内に新設される互助組織を「北児島互助ネット」、通称「互助ネット」と呼ぶこととしてシンポジウムにおいて詳細をお披露目することになりました。

ところが、令和2年に入ると同時に新型コロナウイルスが猛威をふるいはじめ、シンポジウムを開催する状態ではなくなってしまいました。しかし、同年、梅雨の時期からの集中豪雨の時期までに「北児島互助ネット」を発進させておく必要があるため、運営会議で出された意見を参考にしながら暫定の「災害が起こった場合のフローチャート」を作成し、2月25日北児島互助ネット参加希望の施設代表の方々に集まっていたいただき、暫定フローチャートの検討をしました。

ここに、そのフローチャートを紹介します（個人名はA、B、C表記とします）。

#### 災害が起こった場合のフローチャート (連絡網及び詳細が決まるまでの仮のものです)

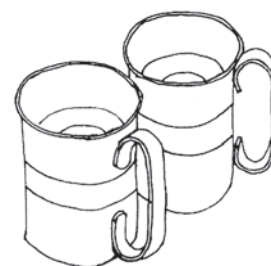
- ① SOS発信者は北児島医師会（086-362-5753）にTEL  
不在の場合は事務担当：Aの携帯へ転送になります  
↓
- ② 事務担当：Aは、地域包括ケア担当理事：B または、岡山光南病院事務長：Cに連絡  
同時に北児島医師会長に報告を行う  
↓
- ③ BまたはCは、SOS発信者と連絡をとり、内容を把握と同時に必要があれば  
岡山光南病院・クリニックのBCP対応チームの起動を要請  
↓
- ④ BまたはCは、北児島互助ネット連絡網登録施設と連絡をとり、支援施設と支援責任者を確認する  
↓

- ⑤ BまたはCは、SOS発信者と連絡をとり、支援施設と支援責任者を告げ、以後は、SOS発信者と支援責任者との間で打ち合わせを行い支援を実行する

\*①～⑤は、30分以内に完了することを想定しています。

以上のフローチャートは、当日参加された施設代表全員により、承認され発効しました。

一日も早く、このコロナ禍がおさまり、北児島ケアネットが再開できることを願っていますが、ポストコロナの新生活様式における地域包括ケアとはどのようなものか再考を要します。



御津医師会：山中慶人